



趣旨説明

西岡 千文（国立情報学研究所）

図書館総合展フォーラム
「機関リポジトリで実現する書誌多様性」

2022年11月18日

フォーラム概要

現在、多くの日本の研究機関で機関リポジトリが設置されている。しかし、公開されているコンテンツは紀要論文、博士論文などに偏っている。本フォーラムでは、教材、会議資料、研究データといったオープンサイエンスの広がりにおいて重要と考えられるコンテンツの機関リポジトリでの公開についての事例・動向を示すとともに、その効果と課題について関係者と議論する。関係者が多様なコンテンツの機関リポジトリでの公開を検討する際の材料となることを期待する。

書誌多様性 (bibliodiversity)

書誌多様性とは、1990年代にチリの出版社のグループによって作られた造語であり、次のような概念である。「書誌多様性とは出版の世界における文化的な多様性を意味する。生物多様性

(biodiversity) に呼応して、多種多様な作品（書籍、脚本、電子ブック、アプリ、口承文学）が提供されている状態を指す。書誌多様性は、口述、執筆、出版などの方法で生み出された口承・文芸作品から成る、複合的で自己持続的なシステムといえる。作家や編集者は、生態系における生物に例えられる。書誌多様性は豊かな文化生活や健全なエコソーシャルシステムに貢献する。

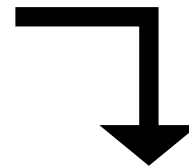
キャスリーン・シアラー, レスリー・チャン, イリーナ・クチマ, & ピエール・ムニエ, (河合将志 (監訳), 南山泰之, 林正治, 藤原一毅, & 尾城孝一 (翻訳)). (2020). 学術情報流通における「書誌多様性」の形成に向けて—行動の呼びかけ—. <http://doi.org/10.20736/00001276>

オープンサイエンスと書誌多様性

オープンサイエンスのコアバリュー（「UNESCOオープンサイエンス勧告」より）

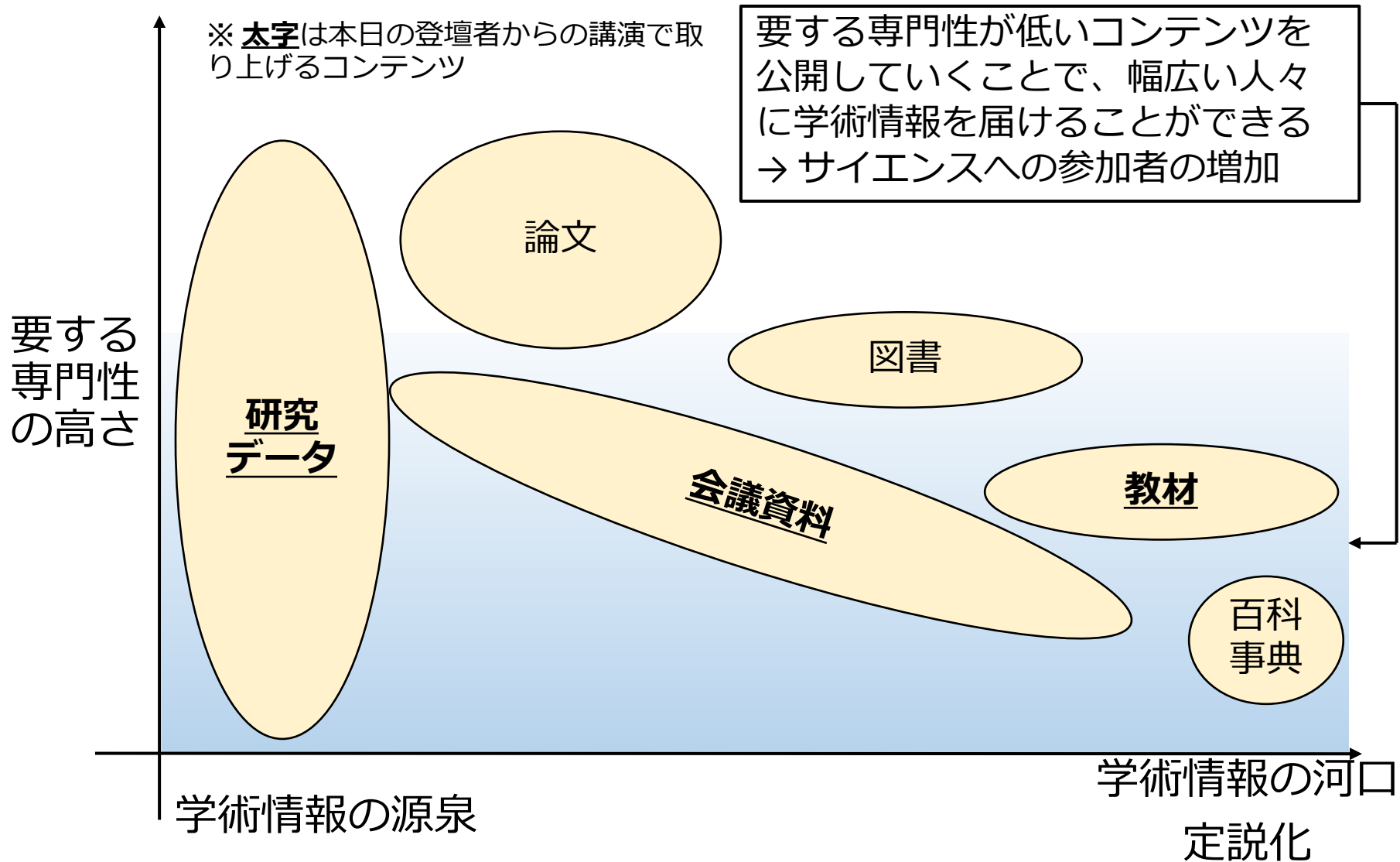
- 質と誠実さ（Quality and integrity）
- 集団的利益（Collective benefit）
- 公平と公正（Equity and fairness）
- **多様性と包摂性（diversity and inclusiveness）**

米川和志. (2022). E2485 ユネスコ「オープンサイエンスに関する勧告」. カレントアウェアネスE. No. 433.



多様性と包括性：オープンサイエンスは、知識、実践、ワークフロー、言語、研究成果、研究トピックの多様性を受け入れる必要がある。それらは、科学コミュニティ全体、多様な研究コミュニティや研究者、様々な国・地域の先住民族や地域コミュニティ、社会的アクターなど、従来の科学コミュニティを超えた幅広い市民や知識保有者のニーズと認識的多元主義を支える。

多様なコンテンツの公開への期待



機関リポジトリのコンテンツ

資源タイプ	件数	リポジトリ数 (割合)	
departmental bulletin paper	1,394,451	699	(89.73)
journal article	369,755	420	(53.92)
other	351,474	544	(69.83)
doctoral thesis	118,384	341	(43.77)
research report	96,081	272	(34.92)
thesis	95,078	265	(34.02)
article	91,470	204	(26.19)
dataset	86,722	54	(6.93)
technical report	53,054	86	(11.04)
conference paper	46,015	182	(23.36)
book	44,629	220	(28.24)
conference object	19,197	148	(19.00)
learning object	5,954	74	(9.50)
image	4,782	2	(0.26)
periodical	1,786	7	(0.90)
report	1,168	7	(0.90)
その他	2,856	-	-

- 左表は、機関リポジトリで公開されているコンテンツ（資源タイプ別）
- 本日の登壇者からの講演で取り上げるコンテンツは、多く公開されているが、取り組む機関リポジトリが少ない

なぜ機関リポジトリで公開している？

公開する際のワークフローは？注意点は？

反響は？

フォーラムの構成

- 喜多一氏（京都大学）
「機関リポジトリでの教材の公開」
- 白石佳寿美氏（国立極地研究所）
「国立極地研究所学術情報リポジトリで会議資料が主要コンテンツの理由（わけ）」
- 南山泰之氏（国立情報学研究所）
「機関リポジトリでの研究データ公開」